

製造業

- ◇パン…学校給食パンにおいては、安心・安全をモットーに仕事を進めているが、ほんの小さなクレームでも何度も続くと、市町村教育委員会が納入停止を実施するため、改善完了まで作業が出来ない状況になる。週に一度位しかない仕事なので、経営的には非常に厳しい状態。生徒達の食育のためと思い、ボランティアの精神を強く持って頑張って取り組んでいるが、何か支援的なものはないものか。
- ◇酒…8月の課税移出数量は、前年比91.5%と減少。しかし、特定名称酒は前年比110.2%と大幅増。普通酒における連続しての減少は近年全国的に見られる傾向で、一段と消費者の高品質志向が伺われる。また、焼酎についても8月は前年比91.7%と減少。清酒輸出は依然として順調な伸びを示している。ANAラウンジでは、試飲コーナーへの出品など平成30年2月までロングランでの「國酒PR」も継続実施中。当組合も10月以降は本格的なイベントシーズンに入り、PR・販促活動に注力している。
- ◇納豆…流通に対して価格交渉力の弱い納豆業界としては、値上げによる価格調整が出来ない現状にある。円安が進行し、包装資材の値上・物流費の上昇など、減収には至らずとも減益傾向が継続している。唯一救いなことは、米国産大豆が豊作で円安を相殺していること。人手不足感が強まっており、経営を維持するのに必要な現場作業水準を保つことが大変になっている。
- ◇菓子…9月前半は涼しくなったため、売上は昨年より増加。敬老の日を含めた3連休は、天気も良く行楽客も多かった。後半にはお彼岸もあり、昨年より売上・収益ともに増加。9月全体では前年同月比で売上・収益ともに微増。円安により包材の値上げがあり、今後収益の圧迫が懸念される。
- ◇織維製品（袋物）…ここへきて消費税増税の影響か、仕事量が少し減った。10月からの動きに期待したい。
- ◇木材…住宅資材の荷動きが冴えない。国産材や外材製品など在庫調整は進んでいるが、需要不振は変わらず、需給バランスが取れて価格は保合で推移。手当は慎重さが目立っている。
- ◇プレカット…9月は加工予定が入っていたが、職人不足と雨の影響で上棟が遅れ、加工坪数は目標をクリア出来なかった。10月も職人不足で同じような状況。
- ◇段ボール…前年より数パーセント減、若しくは前年並みで、決して景気の盛り上がりは感じられない。原材料の値上分を製品に転嫁出来ないと、今後、収益に響いてきそうである。

- ◇総合印刷…用紙等原材料価格の値上がり、電気代の高止まり状況が続く等、収益環境は厳しさを増している。
- ◇プラスチック…先行きは不透明。アベノミクス効果は全く感じない。
- ◇焼物…秋の行楽シーズンを迎える、一段と力が入る季節となった。笠間の見どころを上手に伝えられるよう、頑張っていきたいと思っている。
- ◇鍍金…売上は前年より1割程度減少。消費税増税の駆け込み需要の影響が、まだ続いているようである。建築関連部品は大きな変化はないが、自動車・建機・機械・電気製品部品等は相変わらず低迷。金属材料価格については、金属（銅・亜鉛・ニッケル・貴金属等）は円安を受けて1割程度上昇。今後も為替の影響を受けやすい傾向。工業薬品は若干値上がりの傾向であるが、今後電力費値上がりの影響が出てくるものと思われる。電気代の値上がり及びガソリン・燃料費の上昇は相変わらず経営を厳しい状況にしている。
- ◇電化機器…当月生産高は、対前年同月比△92百万円（△10.3%）の798百万円、対前月比では174百万円の増産（27.9%）、今年度4月～8月の5ヶ月間の平均値と比較すると11.4%増加の生産高となつたが、上期での対前年同期比では△17.2%（△908百万円）であり、生産高が回復したとは言い難い状況。
- ◇自動車部品…売上高は増加傾向にあるものの、対前年比でやや増加ということであり、一昨年あるいはその先の年度と比較しても水準以下である。
- ◇工業団地（農機部品）…組合員の売上状況は、対前年同月比で組合員7社中3社が増加、4社が減少（全体増減率89%）。平成26年度上半期（4月～9月）累計での対前年比を見ると、売上高91%、雇用人員106%、従業員1人当たりの売上高86%。受注減の時の生産性対策・雇用対策の難しさに直面している結果となつた。

非製造業

- ◇セメント卸…袋セメントの出荷袋数は前年同月比約4%の減少。前年比減少に変わりはないものの、前月比では17%の増加。今後徐々にではあるが、年末に向け建設工事の成約が見込まれ、出荷の増加を予想している。
- ◇水産卸…精算所取扱高は、前年同月比10.77%の増。冷蔵倉庫は電気料金値上げにより収益を圧迫、厳しい状況が続いている。
- ◇食品卸売…9月は、野菜・果実とともに夏の曇雨天、日照不足の影響を受け、前月に引き続き単価高で推移した。野菜に関してはキュウリ・ナス、果実に関

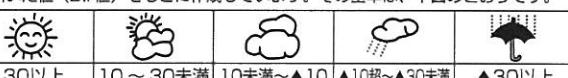
- しては、梨・ぶどうの入荷量が少ない状況だった。今後も引き続き高値で推移する野菜もあるものの、野菜・果実とともに平年並みに落ち着くとみられる。
- ◇**県北地区共同店舗**…食料品売上以外は総じて厳しく、客数減少にも歯止めが効かない。
- ◇**県央地区共同店舗**…涼しさの影響か、半年ぶりに衣料品が微増となるも、雑貨・用品系は厳しい。全体的には微増。
- ◇**県南地区共同店舗**…前年同月比で売上が増加した店舗が数店舗見られたが、各部門ごとに減少、総じて減少が続いている。
- ◇**家電**…例年、テーマ商品を絞りにくい9月。訪問活動などで掘り起しをする月だが、販売額は前年比ダウン。大型店は、安さ実感、今こそ現金値引き、ポイント進呈など、客寄せチラシ作戦で展開。このことも、専門店の販売額ダウンの要因の一つである。天候不順、増税、目玉商品が無いなど、年末商戦までは売上を上げるための工夫が必要になるだろう。
- ◇**農機具**…売上が低迷している中、組合員の業績の格差も大きくなっている。個人店はメーカーからの条件も悪くなり、さらに厳しい状況。
- ◇**中古自動車**…9月のオークション状況は改善され、ほぼ前年同月並み（△0.2%）の出品台数を確保できた。成約率は9月も好調で推移し、対前年比6.1%増で終了した。
- ◇**石油**…原油価格は下降してきたが、円安の影響により、ガソリン販売価格は前年同月比で7円上昇。販売数量が減少しているため、元売販売子会社等が組合員の仕入価格を下回るような価格で販売しており、厳しい経営状況が続いている。
- ◇**商店街（日立）**…プレミアム商品券事業によって、9月は昨対でプラスとなった。
- ◇**ホテル旅館**…9月は天候に恵まれなかったこともあるが、観光客は昨年と比べて減少。特に、県北海側は日帰り客も減少。県央・県南地区は観光（特に日帰り客）、ビジネス共に好調であった。

- ◇**自動車整備**…組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数（持込検査）の対前年同月比は、普通車104.0%、軽自動車105.0%とともに微増。
- ◇**総合建設**…土木工事は小規模工事の発注が始まわり、中規模以下の企業にも仕事が回り出した。建築工事の発注は多いが、職人確保に対する懸念が高く、受注をためらう企業もある。今後、予算的な問題ではなく、職人不足・技術者不足による入札不調の可能性がある。
- ◇**県北地区運輸**…主要顧客の物量は総じて横ばいとなるも、荷動き二極化にて売上高は伸び悩み。それに加え、燃料価格は一般感があるものの高止まり傾向にあり、収益を圧迫している。
- ◇**県央地区運輸**…上半期決算の関係で、生活用品・家電関係の動きが良かった。衣類や雑貨品も秋冬季の入れ替えが始まり、動きが良かった。建材・住宅メーカーも引き続き荷が動く。軽油価格も不

H26.9月の業界天気図

業種 指標	売上		収益状況	
	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比
食料品 製造業		▲ 16.7		▲ 33.3
その他 製造業		▲ 50.0		▲ 50.0
卸売業		25.0		▲ 25.0
小売業 (商店街を含む)		▲ 45.5		▲ 54.5
サービス業		0.0		0.0
建設業		▲ 40.0		▲ 40.0
運輸業		0.0		▲ 100.0
全 体		▲ 34.0		▲ 46.0

【天気図の見方】県内情報連絡員から毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」（又は、「好転」）業種割合から「減少」（又は「悪化」）業種割合を差し引いた値（D.I.値）をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。



※表の中の数値は D.I. 値

総合火災共済

火災 落雷 破裂、爆発
風、雪災 物体の落下 水ぬれ
その他…騒じょう・盗難・水害も補償!!

自動車共済

安心の示談交渉サービス
複数所有していると更におトク！

その他、自賠責もお取扱いしております。

傷害共済

200万の補償で掛金はひと月 600円 !!
自動車保険(共済)のプラスαとして更に安心！

茨城県火災共済協同組合 関東自動車共済協同組合

〒310-0801 水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館8階 電話番号：029-224-0610（代）